

4 - 3 堅上地域

1) 堅上地域の現状

- 地域の大半が市街化調整区域で、山間部と丘陵部に小規模な集落が見られます。
- 府道本堂高井田線が地域の主要生活道路となっており、市内循環バスが堅上合同会館付近まで運行しています。
- 竜田古道の里山公園や東山運動公園等が配置されており、様々なレクリエーションやスポーツが体験できる施設となっています。
- 土地利用としては大半が山林となっていますが集落付近は農地も多く、丘陵部ではぶどうの栽培が盛んで、観光ぶどう狩りも本市の魅力のひとつです。
- 亀の瀬を中心に「龍田古道・亀の瀬」「葛城修験」が令和2年(2020)6月に日本遺産に認定されました。
- 日本有数の地すべり地帯である亀の瀬については、現在も対策工事が行われています。
- 府道本堂高井田線沿いに土砂災害（特別）警戒区域が多く指定されています。

2) 堅上地域の課題

- 広域道路網が整備されておらず、市街地とのアクセス性の向上が必要です。
- 地域の主要生活道路である本堂高井田線は狭あい部が多く、対面通行が出来ない区間があります。
- 地域内には市内循環バス等が運行していない交通空白地があります。

表：堅上地域の情報

道路	高速道路、インターチェンジ	—
	一般国道	—
	主要地方道・一般府道	(一) 本堂高井田線
	その他の主な道路	—
主要な施設	柏原市役所堅上出張所、堅上合同会館、斎場、JR 河内堅上駅	
文化財・観光資源	金山彦神社、光徳寺、生安寺	
自然、公園	竜田古道の里山公園、東山運動広場、青少年教育キャンプ場、亀の瀬地すべり対策地区	



河内堅上駅



集落



亀の瀬地すべり資料室



排水トンネル（亀の瀬）



図：施設立地図

3) 堅上地域の将来像

堅上地域には日本遺産に認定された亀の瀬や亀田古道の里山公園などがあり、また観光ぶどう狩りが盛んであることから、これらの歴史や文化、観光を活かしたまちづくりを推進するため、地域のテーマを次のように決めました。

関係・交流人口の増加に向けたまちづくり

4) 地域づくりの基本方針

利便性と快適性の高い住みやすいまちづくり



- 国道 25 号の渋滞対策や地域産業の発展のため、山間地を奈良に抜ける国道 25 号大阪柏原バイパスの事業化を促進します。
- 府道本堂高井田線青谷バイパスの事業再開を関係機関に働きかけます。
- 交通空白地の居住者のためにデマンド型交通、新型モビリティの導入を検討します。
- 亀田古道の里山公園や亀の瀬地すべり対策地区は、自然とのふれあいの場、観光レクリエーション活動の場として活用するため、整備・維持管理に努めます。
- 河川等の水質改善に向けて、「柏原市公共下水道整備第 8 次五箇年計画」に基づく、公共浄化槽の整備を推進します。

地域資源を活かした魅力あるまちづくり

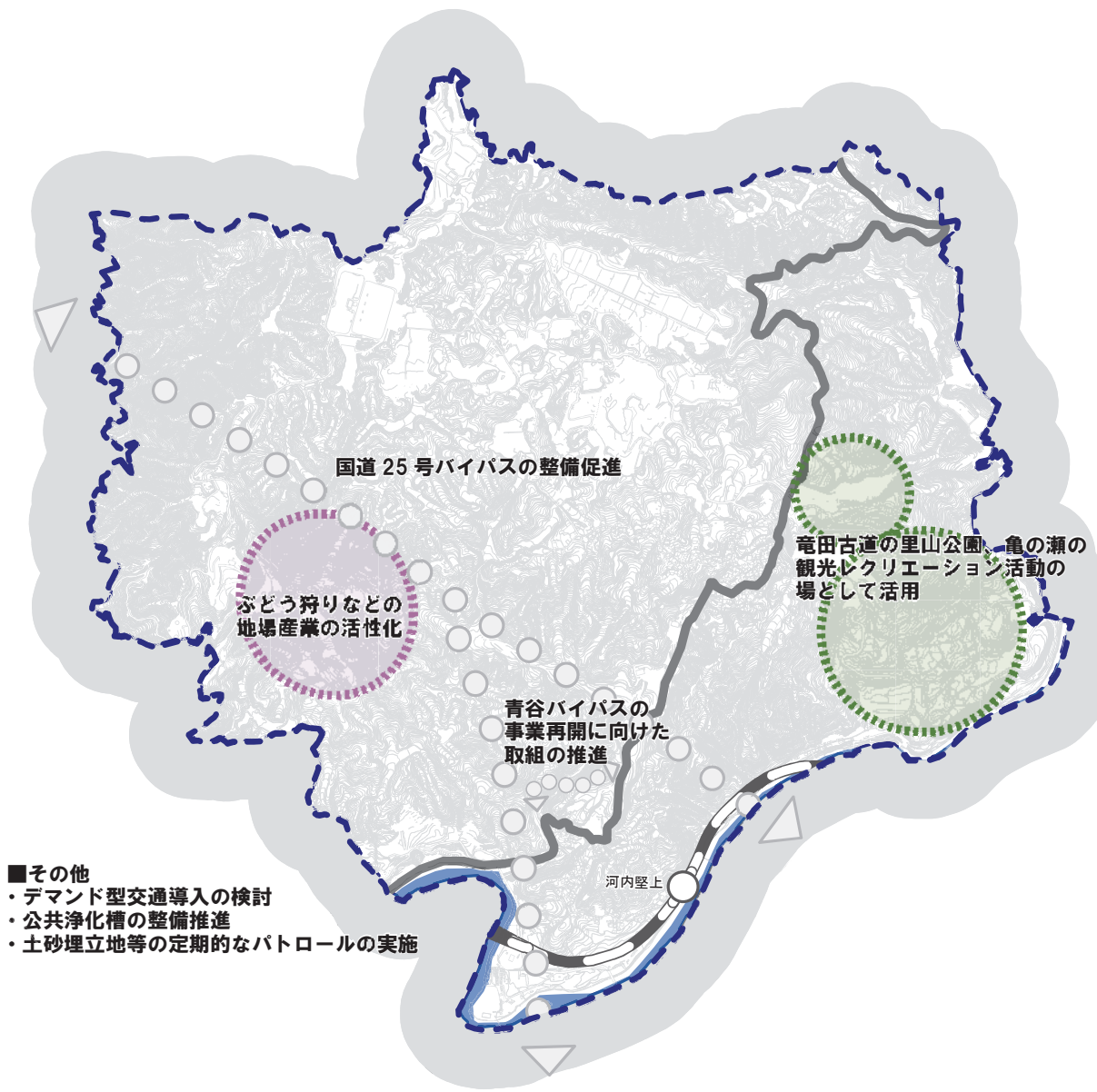


- 日本遺産に認定された龍田古道・亀の瀬と葛城修験など、本市の多様な歴史が感じられる景観の保全を推進します。
- 亀の瀬周辺の観光客の増加を目指し、特性に応じた施設整備やソフト施策の充実を図ります。
- コロナ禍等の感染症対策として、屋外レジャーの需要が増加しており、本市でもぶどう狩りなどの地場産業の活性化を図りつつ、自然環境と地域振興を守ります。
- 山間部の集落地に受け継がれてきた地域コミュニティの維持に努め、地域資源の継承を促進します。

安全で安心して暮らせるまちづくり



- 亀の瀬については、地すべり対策工事を推進するとともに、将来的に人が集い、交流が生まれる空間利用を検討します。
- 土砂災害（特別）警戒区域などの危険個所や土砂埋立地は、定期的なパトロールの実施に努めます。



図：整備方針図